

みずほCustomer Desk Report 2016/08/09号(As of 2016/08/08)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.13 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.05	1.1087	113.18	0.9802	1.3080	0.7611
SYD-NY High	102.66	1.1105	113.75	0.9841	1.3096	0.7672
SYD-NY Low	101.70	1.1072	112.99	0.9790	1.3028	0.7597
NY 5:00 PM	102.45	1.1088	113.57	0.9827	1.3040	0.7651
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.385/9.855		△25RR	1.290	Yen Call Over	
NY DOW	18,529.29	▲14.24	債券市場	日本2年債	-0.1700	1.7bp
NASDAQ	5,213.14	▲7.98		日本10年債	-0.0390	5.4bp
S&P	2,180.89	▲1.98		米国2年債	0.7260	0.4bp
日経平均	16,650.57	396.12		米国5年債	1.1444	0.8bp
TOPIX	1,305.53	25.63		米国10年債	1.5920	0.4bp
シカゴ日経先物	16,655	215.00		独10年債	-0.0650	0.2bp
ロンドンFT	6,809.13	15.66		英10年債	0.6120	▲6.0bp
DAX	10,432.36	65.15		豪10年債	1.9540	8.4bp
ハンセン指数	22,494.76	348.67	為替市況	USD/CNH	6.6685	0.0025
上海総合	3,004.28	27.58		ドルインデックス	96.40	0.21
USDJPY 3M Vol	11.32	▲0.25%	商品市況	CRB指数	182.795	1.00
USDJPY 6M Vol	11.14	▲0.21%		NY金	1,341.300	▲3.10
EURJPY 3M Vol	11.34	▲0.40%		WTI	43.020	1.22
EURJPY 6M Vol	11.40	▲0.33%		Dubai Spot	41.45	0.83

【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
8月8日	8:50	日	経常収支/貿易収支	6月 ¥974.4B/¥763.6B	¥1,103.5B/¥773.3B
		中	貿易収支	7月 \$52.31B	\$47.30B
		中	輸出/輸入(前年比)	7月 -4.4%/-12.5%	-3.5%/-7.0%
	15:00	独	鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 0.8%/0.5%	0.7%/0.5%
	23:00	米	労働市場情勢指数	7月 1.0	0.0

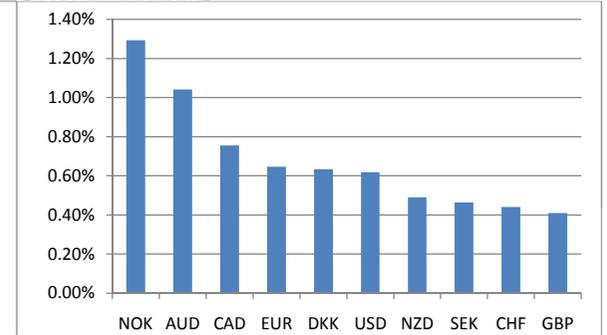
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
8月9日	10:30	中	GPI/PPI(前年比)	7月 1.8%/-2.0%	1.9%/-2.6%
	15:00	独	貿易収支/経常収支	6月 23.0B/23.0B	21.0B/17.5B
	17:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 0.1%/1.8%	-0.5%/1.4%
	17:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	6月 -0.2%/1.3%	-0.5%/1.7%
	17:30	英	貿易収支	6月 -£2550M	-£2263M
	23:00	米	卸売在庫(前月比)	6月 0.0%	0.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.20-103.00	1.1050-1.1130	113.00-114.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場ドル円相場は、ドルの底堅い値動きとなった。週明けの東京市場では、先週末の良好な米雇用統計を受けて102円台前半でドル買い優勢の展開。しかしながら、米利上げ動向に未だ不透明感が残る中、ドルの上昇は長続きせず午後にかけては上昇幅を縮小し102.00を挟み小動きとなった。海外時間に入っても特段新しい材料は見られなかったものの、米雇用統計の結果を受けたドル買いが散見され102円台半ばまで上昇した。本日のドル円相場は、102円台半ばを中心にもみ合いの値動きとなりそうだ。米雇用統計によるドル買いは長続きせず、市場は夏休みモードに入っており、積極的な相場推移は想定し難い。株価を覗みながらの展開が続くだろう。

東京	先週金曜日の強い米雇用統計を受けたドル高の流れを引き継ぎ、週明けシドニー時間に一時102.22まで上昇する場面が見られたものの、一時的な値動きにとどまる。その後東京時間オープン前に発表された本邦6月貿易収支は7,636億円の黒字とほぼ相場予想通り(予想:7,733億円の黒字)の数字に、ドル円相場への影響は限定的。また同タイミングで7月日銀金融政策決定会合の「主な意見」が公表され、「次回会合で物価動向や政策効果について総括的な検証行なう」などの内容が示されたものの、こちらも目立った反応は見られなかった。かかる中、東京時間のドル円は102.05レベルでオープン。先週金曜日に米株が上昇した流れを受けて、日経平均株価が200円超上昇して寄り付くも、ドル円相場への波及効果は限定的。正午頃に中国7月貿易統計が発表され、特に輸入が市場予想以上に減少し、内需の落ち込みを反映した結果となったことで、ドル円は一時101.95近辺まで小幅に下落したものの、その後は102円を挟んでレンジ推移に終始した。後場には日経平均株価が前営業日比400円近く上昇したものの、やはりドル円の押し上げ効果は限定的で、102.13レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、102.13レベルでオープン。先週末の米雇用統計後のドル買いが継続し、102.45まで上昇。102.41レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3069レベルでオープン。独6月鉱工業生産が前月比+0.8%と予想(0.7%)を上回る伸びを示したこと等からユーロポンドが上伸し、ポンドは対ドルでも1.3033まで売られる。その後、ロシア・エネルギー相が原油の生産水準凍結に関し協議再開の準備があると発言したことや、石油輸出国機構(OPEC)が9月の非公式会合開催を発表したことで北海ブレントが上昇し、ポンドも1.3078まで上昇した。1.3060レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は102.41レベルでオープン。新規材料に欠ける中、原油が反発したこともあり資源国通貨が上昇。それに円安の動きが加わりドル円を押し上げ一時102.66まで上昇した。午後に入っても、クロス円が堅調だったようにドル高というより円安がドル円を支え、102.45レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1085レベルでNYオープン。特段材料もなく、ユーロドルは先週末の米雇用統計後の水準での値動きが続き、1.1088レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性・確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。